

3項目の目標で工業会活性化図る

インタビュー



日本ゴム精練工業会 野田明志会長

界の最近の状況及び今後の見通し、工業会の活動などに関する問い合わせ。

――会長に就任しての抱負は。

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力を願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対する③需要先から

業会及び業界に対する業会としての3項目となつて

いる。まず①に関しては、工業会として拡大

より一層信頼される工

業会及び業界に対する業会としての3項目となつて

は、まだまだ数多く存

在すると思っている。また②に関しては、工業会に加盟していれ

ばども様なメリットや

東京駅八重洲口の会議

社員対象研修会を初めて実施

室において竹下道孝氏

（竹下共創技術士事務

所代表）を講師に、「天

然ゴム・合成ゴムのお

話」という演題で講演

会を実施する。今回は

第1回目ということに

で、若手社員にも分か

り易いようにゴムが実

用するコアテクノロジー

――ゴム精練業界の

現状については、

国内のゴム精練需

求も大切だ

た製品に求められて

いる。我々としても、重

要な工程を担いゴム産

業界に貢献していると

いう認識を改めて持

つて、海外進出の加速と

現地での調達比率の高

まりにより、残念なが

ら年々減少傾向にあ

る。日本ゴム精練工業

会の加盟企業総出荷量

の推移では、工業会設

立当初は30社で約23万

トンあつたが現在は24

社で約11・5万トンと

なっている。企業数に

何度も危機的状況はあ

つたが、幸いなことに

共存共栄の認識を持ち

てから25年の間、リ

ーマン・ショックなど

は切磋琢磨しながらも

厳しい需要環境に立ち

向かわなければならな

いと想定している。設立

会として、会員企業が

は切磋琢磨しながらも